

## カトリック山手教会月報

## やまて



編集・発行 カトリック山手教会 広報委員会 〒231-8652 横浜市中区山手町44番地  
 ☎ (045) 641-0735 <http://catholicyamate.org/>

第605号 2020年3月8日

## 2020年度信徒大会開催

2月9日(日)11時30分ミサ後に信徒大会が教会ホールで開催されました。

初めに、司会を務めた総務担当の田中麻子氏から山手教会の全体像と昨年度の活動報告がありました。そして、昨年に続き教会委員長に就任した太田康子氏から挨拶と「新年度活動方針と考え方」について話がありました。新年度活動方針については、「今年教会を守るための年とし、大規模修繕を行い、そのための費用を集める工夫をしたい」とのことでした。その後、委員長から教会委員会メンバーと以下の聖堂修繕工事委員会メンバーの紹介がありました。委員長：太田康子(教会委員長)、副委員長：小倉謙(教会委員会副委員長)、事務局長：新井田一祝、財務担当：佐藤康夫(財務委員長)、営繕担当：時久毅(施設管理グループ)、建設技術担当：大塚哲雄、花田賢弘。なお、修繕工事委員会の任期は工事完成(2022年3月予定)までとし、工事完成をもって解散します。続けて、委員長から「聖堂修繕工事の取り組み方針」、「修繕工事期間と主な実施項目」の説明がありました。取り組み方針は、①危険箇所の除去により安全なミサ環境の整備②歴史的建造物としての山手教会聖堂の現状維持③現在の耐震強度の調査④屋根瓦の葺き替えと聖堂正面の浸水対策⑤工事費用の確保です。工事期間については、横浜市から経済的支援を受け、工事資材を準備するために工期を2期に分ける。第1期工事(2019年9月～2020年5

月予定)、第2期工事に向けた準備(2020年6月～2022年3月)、第2期工事(2022年4月～2023年3月)。なお、耐震調査の中間報告で問題がないことが判明したため、5月連休後には聖堂を使用できる予定。

また、墓地委員会委員長の村田隆裕氏から合葬墓建設進捗状況の説明と、実際に手続き処理などをされた教会事務所の新井田一祝氏から補足説明がありました。①合葬墓は納骨堂のある場所の一部を予定。②横浜市との協議で指示された前段作業を進め、登記は完了した。③横浜市の許可を受けるため半径110メートル以内の土地・建物所有者、居住者、事業者に対する説明会を3回開く必要がある。⑤順調にいった場合、今年の8月中旬に建設完了予定などの説明がありました。

また、会計報告と予算については、財務担当の佐藤康夫氏から次の説明がありました。2019年度の決算については、①月定献金とミサ献金の減少傾向は、ひとまず回避することができた。②7月以降、聖堂が修繕工事で使用できないため、10月以降の結婚式キャンセルにより祭儀献金は半分以上減少した。また、2020年度予算については、聖堂が使用できないため祭儀献金収入減少が大きく、月定・ミサ献金は控えめに見積もった。

なお、質問事項で即答不可能なものについては、今後、教会委員会で検討し、信徒の方々に本紙面にてお知らせする予定です。